

報 告

- ◇国際連携推進ワークショップを開催
- ◇福井県農林水産大臣政務官が当所を視察
- ◇うしくサイエンスフェスタ2007に出展
- ◇アグリキッズ科学教室「木の棒で、いろいろな橋をつくろう！」を開催
- ◇紙智子参議院議員が当所を視察

◇国際連携推進ワークショップを開催

1月14日（日）東京大学弥生講堂一条ホールにおいて、森林総合研究所主催による国際連携推進ワークショップ「知の共有を目指して－森の恵みと人のかかわりを探る－」を開催しました。

貴重な世界の森林資源の保全・再生に貢献するため、わが国からも多くの研究者・研究機関が熱帯をはじめとする様々な地域で調査・研究を行っていますが、それぞれの研究者、研究機関間の連携や研究成果を含む情報の共有は、十分とは言い難い状況にあります。

そのため、このワークショップは国内の研究者が森林資源分野、生態系分野等の連携を進める国際的な連携拠点の形成を目指して企画されたものです。

ワークショップの趣旨を説明した後、海外の森林及びその地域の生態・社会・文化など各分野で行われている研究プロジェクトの紹介や、現在の海外森林・林業協力とこれからの課題などについて講演が行われました。

総合討論では、講演の内容についての質疑応答やこれからの国際研究で必要とされる研究者や他機関との密接な連携と推進拠点作りについて、活発な意見交換が行われました。

今後も国際連携推進ワークショップの開催を予定しています。



※当日配布しました資料は、ダウンロードできます。

- ・講演要旨集（PDFファイル：2,535KB）
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/topics/topics18/20070206/070206youshi.pdf>

- ・森林総合研究所海外研究・国際協力の動向
（「森林総合研究所百年の歩み」より）（PDFファイル：2,005KB）
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/topics/topics18/20070206/070206shiryou.pdf>

◇福井県農林水産大臣政務官が当所を視察

1月19日（金）に福井県農林水産大臣政務官が当所を視察されました。

まず、特別会議室において理事長から研究概要と林木育種センターとの統合について説明を受けられました。

その後、京都議定書に基づく「国家森林資源データベース」、「厚物合板及び耐震実験装置」、「木材からのバイオエタノール製造」、「野生動物管理」等についての説明を受けられました。



◇うしくサイエンスフェスタ2007に出展

2月11日（日）牛久中央生涯学習センターにおいて、「うしくサイエンスフェスタ2007」が開催されました。

このイベントは、子供達が科学に興味を持ち理数好きになるため、地域の人々や教職員、近隣の研究所などによる楽しい実験や環境学習を通して、科学に親しみ、環境の大切さを学ぶ機会とすることを目的としています。

当所からは「森の力」というタイトルで参加し、森林に棲む野生動物の毛皮標本に触れたり、枝葉から樹木の名前を当てるクイズ、木の重さの違いを比べたり、スギのサイコロで遊んでいただきました。



◇アグリキッズ科学教室「木の棒で、いろいろな橋をつくろう！」を開催

2月17日（土）・18日（日）の2日間、つくばリサーチギャラリーにおいて、アグリキッズ科学教室「木の棒で、いろいろな橋をつくろう！」を開催し、260名を超す参加となりました。

川や谷の対岸に渡ったり荷物を運ぶため、昔からいろいろな木の橋が作られてきました。今回のイベントでは、木の棒を組み合わせた橋の模型作りをととして、先人の知恵や技術を学びました。

木橋作りのほか積み木で遊んでいただいたり、木材標本や毛皮標本の展示や多摩森林科学園の桜の写真を上映しました。



◇紙智子参議院議員が当所を視察

2月19日（月）に紙智子議員が当所を視察されました。

当所の研究施設等の説明ほか、地球温暖化に関する研究、林木育種センターとの統合等について説明を受けられました。

